



2015-2016 年度

地区補助金事業報告

プロジェクト名：広島大学病院ファミリーハウスヘキッズコーナーベンチ4台・本棚・絵本30冊および幼児玩具を寄贈する

プロジェクトの概要について

広島北RCでは、広島大学病院と公益財団法人「がんの子どもを守る会広島支部」と連携して2005年から5年間に亘り、小児がん経験者を対象とした2泊3日のキャンプや、小児病棟に入院している子ども達のためのクリスマス会などを実施し、小児がんと闘っている子どもたちとご家族へ少しでも病気と闘う気力を得てもらえることを目的とした支援を続けてきました。

この度、広島大学病院が長期入院を余儀なくされる小児がんの子どもと家族のために「ファミリーハウス」を建設することとなりました。

「ファミリーハウス」は小児がんの治療には半年以上にわたる長期入院や通院が必要となるため、経済的な負担や、家族が離れて暮らす精神的な負担を抱えることとなりますが、その負担を少しでも軽減できるように、患者・家族が利用できる滞在施設です。そこで、長年キャンプ事業などで支援してきた当クラブとして、お役に立てることが無いか調査したところ、入院・通院している子供たちが安心して遊べるスペースがあり、そこにキッズサークル（キッズコーナーベンチ）や絵本を置けば、より一層我が家のようにくつろげるスペースになり、小児がんや難病の子どもたちとご家族の不安を、少しでも和らげるために大きな意義を持つものと考え、この度の事業といたしました。

実施報告

2015年10月5日、広島大学病院ファミリーハウスにおいてキッズコーナーベンチ4台・本棚・絵本30冊及び幼児用玩具を小児ガン患者の家族が利用する施設に設置し、同年10月23日に広島大学病院病院長に目録をお渡しし、感謝状を拝受した。また、現地での視察を行い、新聞社による取材等を受けた。

2015年12月17日には当クラブ例会に広島大学病院副病院長 小林教授をお招きし、小児がん拠点病院の選定と役割について勉強会を実施した。

2015年10月24日中国新聞朝刊に掲載

